

## 2016年度第1回理事会議事録

期 日：2016年6月25日（土）16:00～17:00

場 所：公益社団法人 日本放射線技術学会 東京事務所

出席者：菊地 克彦，熊代 正行，土井 司，内田 幸司，江田 哲男，大野 誠一郎，

笠井 治昌，巨瀬 勝美，寺田 理希，沼野 智一，畑 純一，山崎 良，

委任：小倉 明夫，川光 秀昭，高橋 光幸，木下 博嗣，錦 成郎

出席 12 人，委任 5 人

### 報告事項

#### 1. 2015年度第3回理事会以降の会務執行

3月8日 第3理事会（メール会議）：MR 専門技術者認定試験合格者の認定  
第6回認定者の更新の認定

15日 第11回MR 専門技術者認定試験の結果をHPで公開

20日 認定試験合格証と不合格証の発送

28日 更新認定証，上級MR 専門技術者認定証の送付

4月20日 第11回日本磁気共鳴専門技術者の認定の申請手続き締め切り

5月10日 第11回申請者日本磁気共鳴専門技術者認定証の発行

#### 2. 第11回MR 専門技術者認定試験

##### (1) 第11回MR 専門技術者認定試験受験者

認定試験受験申請者：309人

申請資格不足の3人は不合格

T1値 T2値の測定に問題のあった7人は再提出にて審査合格

認定試験受験資格者：306人

試験欠席：14人（事前通知6人、無届欠席8人、うち3人は試験料未払い）

認定試験受験者：292人

##### (2) 第11回認定試験結果

合格 208人（合格率 71.2%）

JMRM：107人，JSRT：145人，JART：158人，JAMT：3人，JIRA：1人

男性：190人，女性：18人（8.7%）

##### (3) 更新講習会

事前受講申込：33人（うち出席：32人）

未申込で当日来場：3人

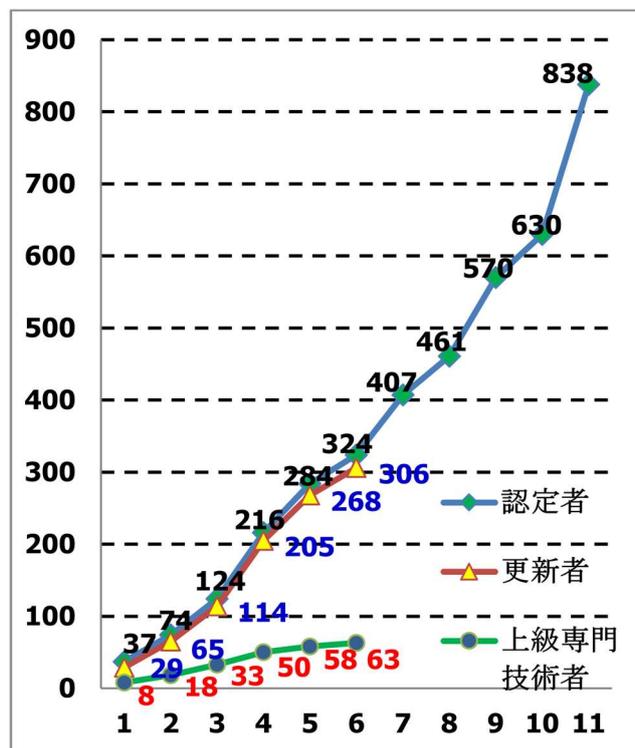
受講者：35人

## 2. 第1回・第6回認定 MR 専門技術者の更新

	更新対象者	更新申請者	上級専門技師	未申請者
第1回試験合格者2度目	36 (上級11)	29	8 (新規3)	7
第6回試験合格者	40	38	5	2

第1回試験合格者の上級 MR 専門技術者の4人が MR 専門技術者で更新し、2人が更新申請をしなかった。新規に3人が上級 MR 専門技師になったので、上級は8人。

回数	認定者		更新者		上級専門技術者	
	認定者	更新者	更新者	認定者	更新者	認定者
1	37	37	36	29	11	8
2	37	74	36	65	10	18
3	50	124	49	114	15	33
4	92	216	91	205	17	50
5	68	284	63	268	8	58
6	40	324	38	306	5	63
7	83	407				
8	54	461				
9	109	570				
10	60	630				
11	208	838		820		



## 議事

### 1. 第11回認定試験欠席者の対応

14人の欠席者の内の受験料を支払っている11人の取扱い

事前連絡のあった受験者：6人と無届欠席：5人については、諸事情を鑑みて次回の試験を全員同等に再受験者として認める。

### 2. 2016年度の事業スケジュール

2016年6月25日 第1回理事会 第12回試験のスケジュールの決定

2016年7月中 試験作成検討委員の選出（関西地区）

2016年8月中 ホームページで第12回試験案内の広報（記載内容のチェック）

2016年11月1日～20日 MR医療安全セミナーの申込み受付

2016年12月3日 MR医療安全講習会（首都大学東京）  
2016年11月1日～12月11日 第12回認定試験申請受付  
2016年12月19日～23日 第12回認定試験書類審査  
2017年1月中旬 第2回理事会 認定試験受験者の認定  
試験準備ならびに試験スケジュールの確認  
2017年1月中旬 第2回・第7回認定MR専門技術者 更新手続き案内状送付  
2017年2月1日～26日 第2回・第7回認定者の更新受付  
2017年3月上旬 第12回MR専門技術者認定試験（大阪医科大学）  
2017年3月中旬 第3回理事会 認定試験合格者の認定

### 3. 2016年度認定試験作成委員（関西地区の上級専門技術者で構成）

認定試験作成委員長 内田 幸司（えだクリニック）：基礎物理  
認定試験作成委員 小倉 明夫（群馬県立県民健康科学大学）：性能評価  
石本 剛（姫路循環器病センター）：応用技術  
上山 毅（彩都友紘会病院）：アーチファクト・読影技術  
大野 誠一郎（岡山大学病院）：パルスシーケンス・読影技術  
笠井 治昌（名古屋市立大学病院）：撮像技術  
京谷 勉輔（神戸大学医学部附属病院）：撮像技術  
高津 安男（大阪赤十字病院）臨床技術  
山谷 裕哉（奈良県立医科大学附属病院）：MRI検査に関わる解剖  
木下 博嗣（フィリップスエレクトロニクスジャパン）：精度管理，法規，安全性  
土井 司（高井病院）：医療安全管理

### 4. 第12回MR専門技術者認定試験の準備スケジュール

2016年7月初旬 認定試験作成委員への試験問題作成依頼  
2016年7月～12月初旬 試験問題作成  
2016年12月18日（日） 第12回MR専門技術者認定試験作成委員会（京都）  
2017年1月下旬 認定試験最終仕上げ  
2017年2月25日（土） 第12回MR専門技術者認定試験準備委員会  
2017年2月26日（日） 第12回MR専門技術者認定試験・更新講習会

### 5. 第12回認定試験の方針について

- (1) 試験日程，出題傾向と回答方法：第11回を踏襲する。
- (2) 認定レベルについて（今後の認定機構の方針と方向性）：60%程度の合格を想定する
- (3) 書類審査について：従来通りとするが、T1値 T2値の測定など前回再提出になった例を示すなど、性能評価が正しく測定されるように案内を充実させる。

## 6. 第2回・第7回認定者の更新について

- (1) 第2回・第7回認定者への更新案内通知 [2017年1月中旬]
- (2) 申請書と更新のための個人票の提出 [2017年2月1日～25日]
- (3) 更新審査(第12回認定試験時) [2017年2月26日 or 3月5日]
- (4) 第2回・第7回更新認定書・上級磁気共鳴専門技術者認定書の発行 [2017年3月]

## 7. 第9回医療安全セミナーの開催

- (1) 開催日：2016年12月3日(土)9時半～18時半
- (2) 開催場所：首都大学東京 定数：一応60人とする。
- (3) 講師は関東地区の専門技術者で構成する。 担当：高橋光幸
- (4) セミナーでの新企画：安全講習のDVDの視聴から意見を聴取する。
- (5) 更新講習会とするが、初学者の参加を促す。

## 8. 学術支援活動

- (1) 学術調査研究チームの募集について
  - 1) 2016年度の募集：テーマを設定せずフリーで公募する。  
多施設共同でのグループ研究を対象とし、学術委員会で審査して決定する。
  - 2) 2015年度以前の研究班：MR医学会などで研究成果を発表されているが、機構に発表要旨(A4・1枚程度)を提出していただきホームページに掲載する。
- (2) 各部位の推奨条件の検討について  
MR医学会のホームページに記載されているが、これも古くなっている。  
認定機構としての必要性を検討し、他学会の動向をみて時間をかけて取り組む。
- (3) 認定者に対する国際交流支援
  - 1) ISMRM, RSNA, ECRの発表者に対して、5万円/人の助成をする。
  - 2) 2016年度から50万円/年の予算を組む。
  - 3) 募集締め切りを1月末とし、ISMRMとRSNAは発表実績を添付して申請する。  
ECRは採択されたことを要件とする。
  - 4) 第1回審査に間に合うように学術委員会で審査規定を作成する。
  - 5) 重複申請はいとわない。
- (4) MRI用精度管理用ファントムの購入
  - 1) 認定機構がMRI用の精度管理のファントムを所有することの必要性について、認定研究会などを通じて全国規模でニーズを調査する。
  - 2) 必要となれば最大3台の購入を2017年度の予算に組み入れる。
  - 3) 送料や管理などの運用規定を学術委員会が作成する。
  - 4) 管理方法として、ファントムを研究会に送付し研究会で管理する方法もある。

## 9. 医療安全とMRIの基礎に関する啓発活動

- (1) ホームページでの効果的な動画の配信を考える。
- (2) MRI Safety Forum への上級MR専門技術者の支援の要請  
質問や回答内容に対して率直な意見を聴取する。
- (3) 最近の話題
  - 1) インシュリンポンプがエックス線やMRIの影響を受ける。
  - 2) 植込みタイプの心電モニタ本体はMRI撮像可能であるが保存データが破損する。

## 10. MR専門技術者認定機構の活動について

- (1) 市民向けFAQサイト「安心してMRI検査を受けるために」の充実  
内容に欠落がないかをチェックする。
- (2) 教育コンテンツの作成（動画収録）  
アーチファクトをテーマに15分程度で4コマを企画する。  
第9回医療安全管理セミナーで1時間15分程度の時間で収録する。  
講演者などは教育委員会で検討する。
- (3) 更新のための安全管理講習会のe-learningについて  
受講者が戸惑わないように設問を見直す。

[MRI Safety Forum と市民向けFAQサイトの閲覧数] (6月は27日まで)

月間数	MRI Safety Forum			市民向けFAQサイト		
	セッション数	ユーザ数	ページビュー数	セッション数	ユーザ数	ページビュー数
201606	3473	2718	13650	251	210	1373
201605	3723	2961	13118	349	308	1560
201604	2949	2324	10938	169	140	936
201603	2942	2346	10329	196	157	1096
201602	2951	2322	10509	326	283	1466
201601	2707	2185	10916			
総計	36733	28936	151463	1291	1098	6431

## 11. 2016年度事業予算について

- (1) 国際交流支援に50万円の支出を追加したので、単年度赤字3,399千円とする。
- (2) 認定試験の採点ソフトを更新する：経費は予算案とおりで執行可能。
- (3) ホームページの管理者ツールの更新：経費は予算案とおりで実施可能。

## 12. 本認定機構の委員会活動の充実と役割分担（再確認）

### 1) 総務委員会

委員長：土井 司 委員：熊代 正行

### 2) 学術委員会（研究班活動・認定試験実施と試験作成）

委員長：内田 幸司 委員：沼野 智一，寺田 理希，小倉 明夫，畑 純一

### 3) 教育委員会（医療安全・更新制度・専門技術者活動）

委員長：川光 秀昭 委員：笠井 治昌，高橋 光幸，大野 誠一郎

### 4) 広報委員会（渉外・ホームページ管理）

委員長：江田 哲男 委員：山崎 良，木下 博嗣，菊地 克彦

## 13. 専門技術者認定機構協議会（連絡会議）への参画について

基本方針）MRI 検査の安全を確保し、質の高い検査を担当者全員が提供できること。

本認定機構としての問題点）認定者に診療放射線技師以外も含まれる。

意見）診療報酬に関わることは技師会が主体になった方がベターである。

本機構の存在意義や価値・方針を見失わないように参画する。

## 14. その他

### (1) 室蘭 CT.MRI 談話会

以下の条件を付けて承認する。

1) MRI の話題がプログラムの 60%以上の時間を占めるとき。

2) 外部講演者を招く場合は、その都度参加者から必要経費を徴収する。

3) 技師会後援となっているが非会員も会員と同じ条件で出席できる。

### (2) 次回、認定機構第 2 回理事会

2017 年 1 月中旬を予定。

以上